

平成29年5月12日

各位

会社名 株式会社 じげん  
代表者名 代表取締役社長 平尾 丈  
(コード番号：3679 東証マザーズ)  
問合せ先 CFO(最高財務責任者) 寺田 修輔  
(TEL. 03-6432-0352)

## 中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、平成28年5月13日に公表いたしました第1次中期経営計画“Protostar”を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。要旨は以下の通りですが、詳細資料につきましては、当社IRサイト(<http://ir.zigexn.co.jp/>)をご覧ください。

### 1. 修正の背景

当社では、平成28年5月13日に公表いたしました第1次中期経営計画“Protostar”(以下、当初計画)に基づき事業を運営してまいりましたが、平成28年12月16日付「株式会社三光アドの株式取得(子会社化)について」や平成29年4月14日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、既存事業の好調や、当初計画では想定していなかったM&Aの実施によって、当初計画を上回る業績の推移が見込まれます。

また、平成29年4月18日付「国際会計基準(IFRS)の任意適用に関するお知らせ」に記載の通り、当社は、平成29年3月期決算から国際会計基準(以下、IFRS)を任意適用いたします。

以上の前提条件の変化を反映し、平成30年3月期から平成32年3月期を対象期間とする修正中期経営計画を策定いたします。

### 2. じげんが目指す方向性

当社は、情報量が爆発的に増加し、情報と人の距離がゼロに近づく環境下において、大量の情報を有機的に収束、再構築し、パーソナライズして届けることで、ユーザーの行動を促進するプラットフォームを創出することを目指します。

修正中期経営計画の期間内において、既存事業では引き続き、情報の再構築やユーザー集客への特化から、流通、コンテンツ生成まで機能を拡張して内製化し、新たな付加価値の創出を目指します。また、市場規模が大きいにも関わらずテクノロジー企業が未進出の白地が残る人材、不動産、自動車といった展開領域において、当社の最大の競争優位であるマッチングテクノロジーを活用した新規事業の創出を図ります。

なお、修正中期経営計画の数値目標においては未発表のM&Aや新規事業からの貢献は織り込んでおらず、それらが顕在化した場合には、更なる利益の積み増しを狙います。

### 3. 修正中期経営計画連結数値目標

(百万円)	平成 29 年 3 月期 実績	平成 30 年 3 月期 予想	平成 31 年 3 月期 計画	平成 32 年 3 月期 計画
売上収益	7,557	10,500	13,200 以上	16,600 以上
営業利益	2,276	3,220	4,050 以上	5,100 以上
当期利益	1,284	1,930	2,430 以上	3,060 以上

注：平成 29 年 3 月期実績は日本基準、平成 30 年 3 月期以降の計画は IFRS。

(参考) 第 1 次中期経営計画“Protostar” 連結数値目標 (平成 28 年 5 月 13 日公表)

(百万円)	平成 29 年 3 月期 予想	平成 30 年 3 月期 計画	平成 31 年 3 月期 計画	平成 32 年 3 月期 計画
売上高	6,600	8,300	10,200	12,300
営業利益	2,050	2,600	3,200	4,000
当期純利益	1,150	1,500	1,800	2,300

以上